



平成28年11月30日

横浜市立金沢小学校

横浜市金沢区町屋町26-26

☎781-2401

三浦体験学習と愛川体験学習

11月には、7～8日に金沢区個別支援学級の三浦合同体験学習、9～10日に5年愛川体験学習を実施しました。10月号に続き、宿泊体験での子どもたちの様子を担任の言葉でお伝えします。



三浦体験学習

初めての宿泊体験に緊張している1年生。それを上の学年の子どもたちが、「大丈夫？」「一緒にやろう。」と優しく声をかけてリードする姿に心が温まりました。部屋では声を掛け合ってシーツを敷いたり、荷物の整理を一緒にしたりするなど、大人の手を借りずに自分たちの力だけでがんばろうとする場面が多く見られました。帰りの子どもたちの表情からは、無事に帰ってきた安堵感と自信に溢れていました。この経験を生活に生かし、さらなる成長につながると思います。

<4組5組担任 黒政 暦美>

1日目、2日目共に天気を守られ、快適な時間を過ごしました。学年が上がるに従って責任あるポジションを積極的に引き受け、成長を感じました。また、初めて参加した友達もいろいろなクラスメイトのサポートを受け、楽しく参加することができました。ミカン狩りでは、今年是不作という農家の方のお話でしたが、青空の下での自分での収穫はやはり格別でした。「これ、おいしそうだよ。」「いや、これだよ。」と声をかけ合いながら、はさみをうまく使って収穫を楽しみました。

<4組5組担任 保科 清史>

愛川体験学習

『一人ひとりが責任をもってリーダーシップを発揮し活躍をする。その一人の頑張りをみんながフォロワーとして支える。そのことが最高の思い出を作り出し、最高学年へ向けての大きな成長となっていく。』このような思いをもって、「『One for all All for one』ベスト5（ファイブ）愛川！！』というスローガンを立ち上げました。個人の頑張りには限界があります。支えてくれる仲間がいるから頑張ることができる、このような経験をたくさんできた体験学習だったと思います。高取山を登り切った時のようなスッキリとした達成感をどの活動でも味わえたと思います。大成功だった愛川宿泊体験学習。ここで育ったリーダーシップ・フォローアップの心を、これからも育てていきたいと思います。最高の5年生として！

<5年1組担任 小坂井 郁子>

キャンプファイヤーも登山も思い出深いですが、最も心に残ったのは夜の集いです。広い部屋で車座になり、一人ひとりが自分の思いを伝えました。言葉がなかなか出ず、言いよどむことがあっても、聴いている友達がじっと待っていた様子が印象的でした。どんなことを話しても受容されるという安心感を、子どもたちは感じていたはずで。また、事前に保護者の方に書いていただいた手紙を読みました。半数以上の子たちが頬にこぼれた涙をぬぐっていました。とても心温まる時間でした。いよいよ最高学年に向けた準備は大詰めを迎えます。これまでお世話になった人たちへの感謝の気持ちを忘れず、さらに成長し続けるのを楽しみにしています。

<5年2組担任 長澤 貴之>

宿泊体験を通して、子どもたちが助け合い、一体感を味わうことができました。喜びや感動が個々の成長につながり、励みになることを願っています。